

文芸 小ふたば

俳句

【茂山俳句会】

達磨市声の寂れる蔵の街 岩淵 のぶ子
 初釜や清婉に坐す結城編 海老澤 静夫
 遠さかるばかりの郷に初電話 宮本 立男
 極寒や土俵去る網けじめつけ 大関 くに
 裸木は細胞分裂始めたり 吉原 京子
 老いて子に従ひながら春を待つ 鈴木 ノブ子
 別るるも会ふも人生春近し 今井 繁子
 蛇口からぼとりぼとりと春の声 笠倉 陽子
 日脚伸ぶ気ままに歩む散歩道 鈴木 つぎ
 荒星や頭上に幾多航路あり 渡部 千恵子
 ビル風を抜けて春待つ病棟へ 齋藤 みよ
 蒼空へ北窓開く心意気 飯山 昭
 練言の聞き役うまい日脚伸ぶ 吉原 秀子

バス降りて大人の一日ひなまつり

海老沢 幸子

初夢はコーラス仲間の笑顔なり

塚本 ゆき子

初すずめ我が粧もすずめ彩

皆川 一女

平成と共に賀状も終り告げ

植竹 ふみ

初空や吾子の眼に碧透き通る

酒寄 誠

凧揚げの凧の唸りも子の声も

藤本 利意子

寒の月ときには吉事兆しけり

君島 真理子

研修やいこいの村の蜷汁

金子 弘毅

【一般投稿】

平成は趣味に生かされ福寿草

鈴木 登美子

短歌

【岩瀬短歌会】 題詠「駅」

若き日に通勤したる筑波線賑はひし真壁駅も
 いまは廃駅 大関 にち子

アメリカの開拓史なる「駅馬車」を四度も観
 たりき授業さぼって 小林 美瑛子

駅前「男の友情」の歌碑の立つわが町もみ
 じの散る秋となる 渡辺 しな子

帰り来る母を待ちあし益子駅線路のひびきに
 耳そばだてる 萩原 きしの

岩瀬駅友らの万歳に送られしハネムーンから
 はや五十年 瀧井 幸子

友を迎へに来し無人駅日の暮れており降り立
 つは友と老いし人のみ 広沢 日出子

米負ふて里より帰り来る母を背伸びして捜し
 たり駅の人ごみ 古賀 澄

少年の夢の始まりは上野駅苦学の中に明日を
 見たりき 泉 三郎

改札に手をふり待ちいし母の姿いまはまぼろ
 し遠き故郷 石田 守子

ふかふかの座ぶとん十枚作りあげ木枯ついて
 駅舎に届ける 浜野和 操

六十年ぶりに一人降り立つふるさとの陸中門
 崎駅に駅舎はあらず 鈴木 英雄

人生模様は十人十色乗客に「おかえり」と笑
 む駅の改札 久保 悦子

上野駅に女三人集い来て夫の知らざる青春語
 る 大久保 富美江

【一般投稿】
 寒すぎて初雪かぶり生き生きと朝日に輝やく
 筑波山かな 鈴木 省一



社会福祉法人 上の原学園

- 障がい者支援施設 上の原学園成人寮
- 障がい児入所施設 上の原学園
- グループホームさくら・こぶし

桜川市上野原地新田159番地1
 ☎ 0296-75-2509

- 福祉サポートセンター 樹々
- 相談支援事業所 大地
- グループホームオリーブ・ゆず

筑西市三郷上原980番地1
 ☎ 0296-49-6381

- 特別養護老人ホーム 上の原

桜川市上野原新田154番地4
 ☎ 0296-71-6888